

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習講義
科 目 名	聴覚障害概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	702
担当教員	青木 弥穂				
実務経験とその関連資格	言語聴覚士として難聴幼児通園施設に8年勤務し、言語指導、聴能指導を中心に行った。その後、児童発達支援事業所で言語指導に従事する。大阪府言語聴覚士会聴覚分科会に所属。公認心理師資格所持。日本音声言語医学会会員、日本聴覚医学会会員。				
《授業科目における学習内容》					
聴覚系の構造、機能、病態、聴覚障害児者の補聴、コミュニケーション方法等について学習する					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験(70%)、課題(10%)、グループ学習(10%)、小テスト(10%)を実施し、総合的に評価する					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:聴覚障害 I 基礎編(健帛社) 聴覚障害学第3版(医学書院) 参考書:病気がみえる 耳鼻咽喉科(メディックメディア)					
《授業外における学習方法》					
教科書の該当範囲を熟読し、各回終了後、ノートにまとめる。授業終了後に示すまとめを実施すること。					
《履修に当たっての留意点》					
聴覚分野の基礎内容を理解しながら学ぶこと。教科書を読んで、講義に臨むこと。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	聴覚の機能と役割について学び、聴覚障害児者へのコミュニケーション支援について考えることができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚の機能について理解する	
	各コマにおける授業予定	聴覚障害の概要			
第2回	授業を通じての到達目標	障害の発生時期、重症度などについて学び、聴覚障害児者のライフステージについて考えることができる	教科書・資料	(復習課題)各ライフステージの課題について考える	
	各コマにおける授業予定	聴覚障害とライフステージについて			
第3回	授業を通じての到達目標	聴覚の構造について図や文章で説明できる	教科書・資料	(復習課題)きこえの仕組みについて教科書を読む	
	各コマにおける授業予定	きこえの仕組み			
第4回	授業を通じての到達目標	難聴の分け方について理解できる	教科書・資料	(復習課題)各難聴の違いについてまとめる	
	各コマにおける授業予定	難聴の種類			
第5回	授業を通じての到達目標	難聴の原因と発症時期について説明できる	教科書・資料	(予習課題)難聴の原因と発症時期について教科書を読む	
	各コマにおける授業予定	難聴の原因と発症時期			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	随伴症状について理解することができる。概論前半分についてまとめることができる	教科書・資料	(復習課題)1回から5回までの内容を復習する
	各コマにおける授業予定	難聴と随伴症状、1回から5回までのまとめ		
第7回	授業を通じての到達目標	先天性聴覚障害児の難聴の理解と支援について理解できる	教科書・資料	(復習課題)小児聴覚障害の発達課題についてまとめる
	各コマにおける授業予定	小児聴覚障害		
第8回	授業を通じての到達目標	成人聴覚障害の難聴の原因やコミュニケーション支援について理解できる	教科書・資料	(復習課題)発症時期による抱える課題の違いについて考える
	各コマにおける授業予定	成人聴覚障害		
第9回	授業を通じての到達目標	聴覚検査で扱う音や単位について理解できる	教科書・資料	(予習課題)音・聴こえの表し方について調べる
	各コマにおける授業予定	聴覚検査の予備知識		
第10回	授業を通じての到達目標	聴覚検査について学び、疾患に応じた検査が分かる	教科書・資料	(復習課題)目的に応じて行われる検査の名称を覚える
	各コマにおける授業予定	聴覚検査の種類と目的		
第11回	授業を通じての到達目標	様々なコミュニケーション方法について考えることができる	教科書・資料	(復習課題)コミュニケーションの取り方、方法等を考える
	各コマにおける授業予定	コミュニケーション方法		
第12回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児者の聴覚補償について理解できる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害児者が用いる聴覚補聴支援システムについてまとめる
	各コマにおける授業予定	聴覚補聴支援システム		
第13回	授業を通じての到達目標	関連施設とのチームアプローチについて理解できる	教科書・資料	(予習課題)聴覚障害児者に関係する機関を調べる
	各コマにおける授業予定	関係機関との連携		
第14回	授業を通じての到達目標	言語聴覚士が聴覚障害児者への支援としてできることを考える	教科書・資料	(予習課題)支援について考える。総括に向けて聴覚障害概論の内容をまとめる。
	各コマにおける授業予定	言語聴覚士の役割		
第15回	授業を通じての到達目標	聴覚障害概論の内容をまとめ、説明することができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害について理解する
	各コマにおける授業予定	総括		